

No.24 灰垣委員

昨年新聞報道では、合併ありきみたいな、そういった報道があったので、ちょっとびっくりしてたという、これは議会の中でもおっしゃってましたけれども、1つ聞きたいのは、合併することによって中長期的な財政状況がよくなるような、そんなご答弁があったように思うんですけども、これはどういう見通しでそういうことをおっしゃっているのか、まず、ちょっとお聞きしていいですかね

No.25 中山政策企画室副主幹

合併のメリットで、財政的効果ということですが、検証してみなければわからないですが、一般的には、スケールメリットが働くということで財政的効果も期待できるのではないかと、これはワーキングのほうでも検証していきたいと考えていますが、スケールメリットというものが期待できるのではないかと、このように考えております。

以上でございます。

No.26 灰垣委員

非常に抽象的な答弁で納得いかないんですけども、皆さんの議論、またご答弁を聞いて、私、ふと思ったんですが、今の国会を見ていて、社会保障の問題とか、いよいよこういう議論になってきているんですけども、財源が足りません、だから与野党で協議をしてください、しかし私たちは具体的な案は出せません、どうかよろしくお願いします。こういう今の国会の流れに何か似ているような気がして、なるほどというふうに私は思ったんです。

まず、勉強会を開催してほしいと言った側の島本町が、あらゆることをやった上で、高槻市に働きかけるというのが筋じゃないかなというのを、改めて私は思いました。

先ほど奥田委員のほうからもありましたけれども、また答弁の中にもありましたが、合併するということのメリット、課題を整理して、高槻市民、島本町民の方たちを含めて、勉強会の内容も、また勉強会をすればこうなる、合併をすればこうなるということを、やはりしっかりと説明した上でないと前に進めないというのは、当たり前のことであると私は思います。

例えば、1つの施設を建設しましょうと。大きな予算を使ってやる事業もありますけれども、それはそれで非常に重要なことではあります、それ以上に今回合併をするということは、住民の方一人一人に非常に大きな影響、すべての人に影響を与えるというような

ことになりますから、国会で例を引かせてもらいましたけれども、そういったある意味では理不尽なやり方で勉強会を進めていくということは、どうかやめていただきたいというふうに思います。

合併をするべきであるとか、するべきでないとかということを私は申し上げているのではなくて、しっかりと練り上げた上で進めていくべきであるということを思いましたので、ちょっと意見として述べさせていただきます。

以上でございます。